

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、学校教育目標「豊かな人間性を持ち、主体的に考え行動する子供の育成」の達成に向けて、教育活動全体を通してE S Dを推進している。授業では、体験活動を重視した実践を行い、学び方を身につけると共に、一人一人の願いや個性を大切に、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育む。持続可能な社会の創り手を育むE S Dのメインフィールドとして、総合的な学習の時間に探究的な学習過程を位置付け、問題解決学習の充実を図る。



## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○「安全マップ作り」3年生(福祉)

「安全マップ作り」では、自分たちの通学路を歩き、危険個所を調べる活動を行い、調べたことを安全マップに表した。また、自分たちが作った安全マップを地域の見守り隊の方に発表し、大人目線での危ないところ、気を付けなければいけないところを助言してもらい、マップに書き込むことができた。2年生に安全マップを使って



危険個所を伝える活動をゴールにしたことで、どうすれば伝わるのかを考え、分かりやすい言葉を使って、マップを指し示しながら説明することができた。

この学習を通して、地域の安全に関心をもち、自分たちが安全に暮らせるように願って、学んだことを生活に生かしていこうとする意欲が高まった。

## ○「自然観察ウォッチング」4年生(環境) ※ワンヘルス学習

地域にある延命公園の植物や生物に、1年を通して関わる活動を通して、人と自然との良好な関わり方について考える学習を行った。

ネイチャーガイドの方と一緒に公園で自然観察を行い、どんな植物や生物がいるのか、自分の目で確かめることで、それについて調べてみたいという意欲をもつことができた。実際に触れて、見て、調べての学習を繰り返すことで、調べている対象に愛着をもって調べることができた。また、ワンヘルス学習を通して、自分ができるワンヘルスについて考えることもできた。

まとめた内容は、校内の子供たちへと発信した。地域の豊かな自然を守ると共に、生物多様性について考えを深めることができた学習である。



## ○「見つめよう！大牟田の町～安全なくらし～」5年生(防災・減災)

この学習では、調べ学習や体験学習を通して、自分たちの町の防災・減災について課題をもち、学習した。豪雨災害の経験から、自分たちの町の課題を見出し、災害に強い町にしていくためには地域の一員として何ができるのか考えた。大牟田市防災危機管理室の方から災害についての話を聞き、地域の方と一緒に避難所設営体験も行った。

この学習を通して、防災・減災について、他人ごとではなく、自分事としてとらえ、今自分にできることを考えたいという意欲を高めることができた。



## 3 今後の活動計画

E S Dをさらに推進していくことができるように、各学年で身につけるべき資質・能力を明確にした学習を展開していく。

1. 生活科と総合的な学習の時間における学習内容の関連を図るだけではなく、各学年の発達段階や実態に応じ、身に付けさせる資質・能力を明確にする。
2. 活動ありきではなく、育成したい資質・能力を身に付けることにつながるように、活動の内容や方法を設定し、子供たちの課題意識をもって取り組めるようにする。
3. 子供たちの思いや課題意識を大切にしながら単元を構成し、一単位時間の授業を構想していく。生活科の学習では子供たちの思いや願い、総合的な学習の時間では、子供たちの課題意識を明確にし、思いや願い、課題を解決することに向かう活動を子供たちが主体となって設定することができるように、教師が意図的・計画的に指導・支援を行っていくことができるようにする。